▼デタントール錠・▼R 錠　［内］

【重要度】★　【一般製剤名】ブナゾシン塩酸塩　Bunazosin Hydrochloride　【分類】血圧降下剤［α1-blocker］
【単位】▼0.5mg・▼1mg/錠，▼3mg・▼6mg/R 錠
【常用量】1.5mg/日より開始，維持量 3～6mg/日［最大 12mg］
【用法】1 日 2～3 回
【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（1）
【その他の報告】GFR 38±11mL/min の 12 例での検討では，平均 AUC が腎機能正常者の 3 倍であり減量すべき［ただし個人差が非常に大きい］（Halabi A, et al: Eur J Drug Metab Pharmacokinet 1993 PMID: 7908631）
徐放錠での検討では，有意な血圧降下は腎機能障害患者で投与後早期に得られたが，PK は腎機能正常者で変化しなかった（Shionoiri H, et al: Arzneimittelforschung 1994 PMID: 7848330）
腎障害患者では tmax や t1/2 は変わらないが AUC が増大し，肝代謝が低下している可能性［F の増大？］（Koike Y, et al: Am J Ther 1999 PMID: 10423650）
【特徴】キナゾリン系のα遮断薬．心血管系のα1 受容体に対するノルアドレナリン結合を選択的に遮断．
【主な副作用・毒性】失神，めまい，頭痛，倦怠感，動悸，低血圧，消化器症状など
【F】44.1±7.7%（1）
【tmax】1hr（1）
【代謝】脱メチル化，脱水化により代謝され，グルクロン酸抱合される（1）脱メチル体の活性は未変化体の 1/10 以下（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 0.7%［po, 24hr まで］（1）1.1%（Shionoiri H, et al: Arzneimittelforschung 1994 PMID: 7848330）尿中回収率 36%［po］（1）10%（Weidinger G: Arzneimittelforschung 1995 PMID: 8929232）
【CL】37.7L/hr（1）
【t1/2】1.5hr（1）
【蛋白結合率】97.10±0.22%（1）
【Vd】82.4±28.2L/man（1）
【MW】409.91
【透析性】除去されにくい（1）HD 時半減期 2.40±1.7hr と非 HD 時と変わらない（1）
【O/W 係数】0.215［1-オクタノール/水系］（1）【pKa】7.7
【相互作用】リファンピシンにより降圧作用が減弱（1）
【更新日】20250513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。